

## 「イーちゃんの白い杖」に関する特別番組およびプロジェクト

2023 年日本民間放送連盟賞で最優秀を受賞！



2023 年日本民間放送連盟賞の全国審査がこのほど行われ、テレビ静岡制作の「イーちゃんの白い杖」に関する特別番組およびプロジェクトが、「番組部門 テレビエンターテインメント」「特別表彰部門 放送と公共性」の 2 部門で最優秀を受賞した。

テレビ静岡が日本民間放送連盟賞を受賞するのは 2000 年（「エスパルス 健太・真田の男の選択」が「番組部門 テレビエンターテインメント」優秀を受賞）以来、また最優秀を受賞するのは開局以来初めてとなる。今回のように、同じテーマの番組・事績で複数の部門で同時に最優秀を受賞したのは、過去に類をみないと言われている。

日本民間放送連盟賞は、質の高い番組がより多く制作・放送されることを促すとともに放送による社会貢献活動等のより一層の発展を図ることを目的に民放連が 1953 年に創設した賞で、放送業界の中で最も権威の高いコンクールのひとつ。

■番組部門「テレビエンターテインメント」最優秀

【受賞番組】「テレビ静岡 55 周年記念 イーちゃんの白い杖 特別編」

【放送日時】2023 年 5 月 4 日（木）14 時 45 分～16 時 40 分

【スタッフ】語り：春風亭昇太 音楽：川口カズヒロ

監督：橋本真理子 撮影：杉本真弓

編集：大澤裕也 デザイン：森部道子 効果：山川英夫・松阪史高

プロデューサー：永井学

【番組概要と審査結果】

生まれつき目が見えない小長谷唯織（イーちゃん）。同じく全盲で重い障がいを持って生まれた弟・息吹。テレビ静岡は、姉弟とその家族を 25 年にわたって取材した。この番組は、諦めない強さで、いくつもの壁を乗り越えようと奮闘するイーちゃんの姿を描いている。

全国審査では、長年にわたる丁寧な取材で、イーちゃんや家族と深い信頼関係を築いたからこそ生まれた力作。挫折を味わいながらも前向きに生きるイーちゃんや家族の姿を明るく描いている点も高く評価された。

■特別表彰部門「放送と公共性」最優秀

【受賞事績】イーちゃんの白い杖 25 年継続取材と全国発信プロジェクト

実施責任者 橋本真理子

【事績概要と審査結果】

全盲の少女、小長谷唯織（イーちゃん）が重度障がいの弟とともに苦難を味わいながらも成長し、就職、結婚を経て幸せを掴む 25 年間を取材し続けた。継続的なニュース報道に加え、映画化、自主上映会の開催、DVD 制作、配信など、全国発信に尽力した。

入社当時から強い問題意識を持っていた取材者と、ハンディを持ちつつも他者を思いやる心を持った取材対象者が、長年の取材を通じて築いた強い信頼関係が感じられる。「障がい者が生きやすい社会は、みんなが生きやすい」との信念のもと、二人がタッグを組んで、イーちゃんとその家族が生きる姿を世界に発信しようとする意気込みが評価された。

-----  
★橋本真理子（「イーちゃんの白い杖 特別編」監督および「イーちゃんの白い杖 25 年継続取材と全国発信プロジェクト」実施責任者）コメント

ニュース取材・番組制作に携わる者にとって、日本民間放送連盟賞は憧れのコンクールです。この栄えある賞で番組内容が認められ、25 年の取材活動が認められた…これは、イーちゃん家族が認められたことを意味します。知らせを聞き、涙が止まりませんでした。全盲のイーちゃんが幸せをつかむまでの道のりは長く、険しく、イーちゃん自身も、弟の息吹君も、家族も、取材する私たちも、何度も何度もくじけそうになりました。でも、「苦勞した分だけ幸せは必ずやってくる」互いがそう信じ、この瞬間を多くの人に届けたいと願ったか

からこそ、この番組は生まれたんだと思います。

「全盲の姉と重度障がいの弟」みなさんは率直にどう思いますか。イーちゃんの母は言います。「私たちは決して“かわいそうな家族”じゃない。私達なりに毎日毎日楽しく生きていますよ」と。『イーちゃんの白い杖』は、障がい者が主人公の番組ですが、どこか笑えて、ちょっぴり泣けて、元気になれるエンタメ番組です。全国のみなさんに、世界のみなさんに末永く見てもらえるよう、私たちはこれからもイーちゃん家族とともに歩み続けます。